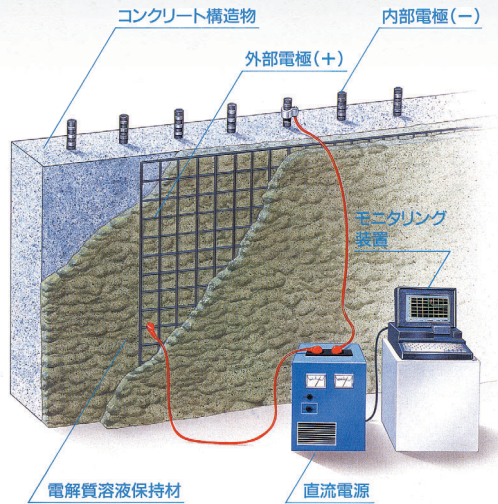
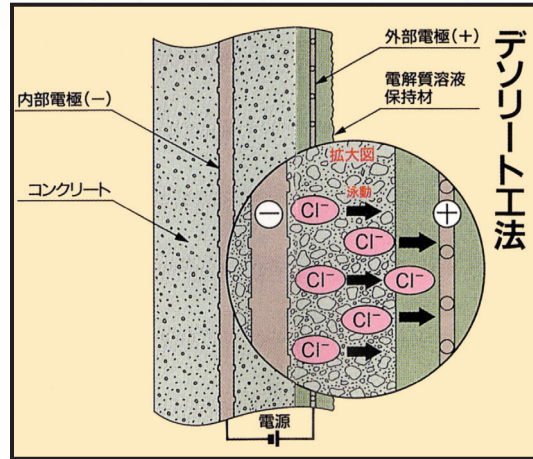


脱塩工法(デソリート工法)

塩害とは、施工時に海砂を使用してすでに塩分を含有している場合、又は構造物が海岸近く、或いは融雪剤の使用によりコンクリート中に塩分が侵入し鉄筋が錆び、その膨張力によってコンクリートが破壊される現象です。本工法はこれらのコンクリート構造物から塩分を除去し電気化学的に再生させる方法です。



システムの概要



脱塩のメカニズム

施工フロー(パネル法)

- 1st コンクリート表面の前処理
- 2nd 鋼材への陰極の接続
- 3rd パネルシステムの仮設
- 4th 直流電流の通電
- 5th アルカリ性溶液の供給
- 6th 脱塩効果の確認
- 7th 撤去・清掃・片付け

その他の工法



ファイバー法



ボンディング法